

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行番. NO. 2105	
日 時 2026年01月11日(日) 晴・強風	
山 域 由比・浜石岳(707m) 県連交流ハイキング=62名+3名(遅刻)	
コース 由比駅 8:14-旧東海道-林道-林道引き返す 10:06-鉄塔取り付き-標高約500m 10:46-薩埵峠からの登山道 11:00-立花池分岐 11:15-但沼分岐(昼食) 11:55~12:20-浜石岳 12:57-由比駅 14:54	
標高差 由比駅約10m~浜石岳707m=約700m	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
<b>昨年に続き、新年早々、薮漕ぎだった</b>	
参加者 後藤、峰田、村山俊一(静岡安倍っ子山の会)=3名	

### 由比駅から登山

電車で新年恒例「県連交流ハイク」の浜石岳に向かった。この山は、山頂展望は素晴らしいが、車道が多く登山の面白みがない。かなり以前、車道が少ない、西面の興津・但沼からは上った。

今回、行く気になったのは、地形図を凝視したら、由比駅からバリエーション的初見ルートがあり、面白そうだったからである。



由比駅



旧東海道

電車賃は680円。駅前から陸橋を渡ると「旧東海道」だった。オジサンが掃除をしていて教えてくれた。街は名残の軒が連なっていた。地元の方が沢山歩いていた。聞けば、今日は「どんどん焼き」といった。

昔、東部は「ドンドン焼きは14日」だったが、最近は休日に行うようだ。右折して林道を上がる。平地の無い由比は、一気に物凄い急登が続いた。今回のコースは、標高約200mの林道から、点線の送電線巡視路を辿り、薩埵峠からのハイキング道に出て、浜石岳に向かうものだった。

## 巡視路入り口が不明

いい感じの林道を大汗搔いて上る。ただ、旧東海道から右折する所に道標はあったが以後、いつさい無かった。GPSを確認しつつ進むが、どうもスッキリしない。

林道をドンドン進むが、途中から下りだした。これはマズイで一旦戻って入り口を確認するが分からぬ。結局、帰宅し軌跡をよく見たら林道が送電線入り口に達していなかつた。(下記地図参照)

## 鉄塔巡視路を上る

結局、予定コース南の別鉄塔巡視路を標高500m峰まで上り、薩埵峠からの一般道を目指した。鉄塔まで標高差は100mほどだが、可なりの急登だった。その上、JR電車を止めたハンパない強風がゴーゴーと唸っていた。

鉄塔に11時前に着いたが、交流集会は山頂に11時集合だった。まだ、山頂まで約2時間。携帯でT理事長に遅れる旨を連絡する。理事長は、「車を出して迎えに行く」と配慮してくれたが、林道に戻るのも難儀なので丁重にお断りした。



鉄塔

やれやれ、今年も昨年に続き、新年そうそう薮漕ぎだった。低山はバリを狙うことが多いので、どうしてもそのようになりがちである。当たり前だが一般道は歩き易い。小1時間で興津・但沼コースに合流した。

連休で早くも下山の方が多い。単独の若い衆は、名古屋からといった。下って行くと別の大きな鉄塔があり、何人か昼食だった。我々もそこで昼食にした。薩埵峠からの登山者が沢山下って来た。人気の山だが、周回が取り難いのでどうしても往復になってしまふ。往復は長い。

下山する静岡のイトーさんに会った。年齢は77歳。私より若かった。山岳会は入っていないが、若い衆に頼まれて登山の面倒をみているといった。「高齢で頑張っている方に会うと励まされる」と意見が一致し分かれた。

階段がある急登を上る。交流会を終えた県連の仲間がゾロゾロ降りて来た。我々に気が付いて丁寧に挨拶をする方も居れば、全く素気ない方も居る。同じ県連でも様々である。山頂に着いた。あれ程吹いていた風は弱くなった。

## 山頂で沼津労山と交流

富士山が素晴らしい。これだけの展望は中々ない。良い理由はある。確かに富士五湖周辺など富士山は大きく迫力ある。ただ、欠点は富士山が南なので早朝・夕方以外、逆光の場合が多くイマイチ。浜石は南西から見るので裾野も大きく全く違う。



浜石岳山頂



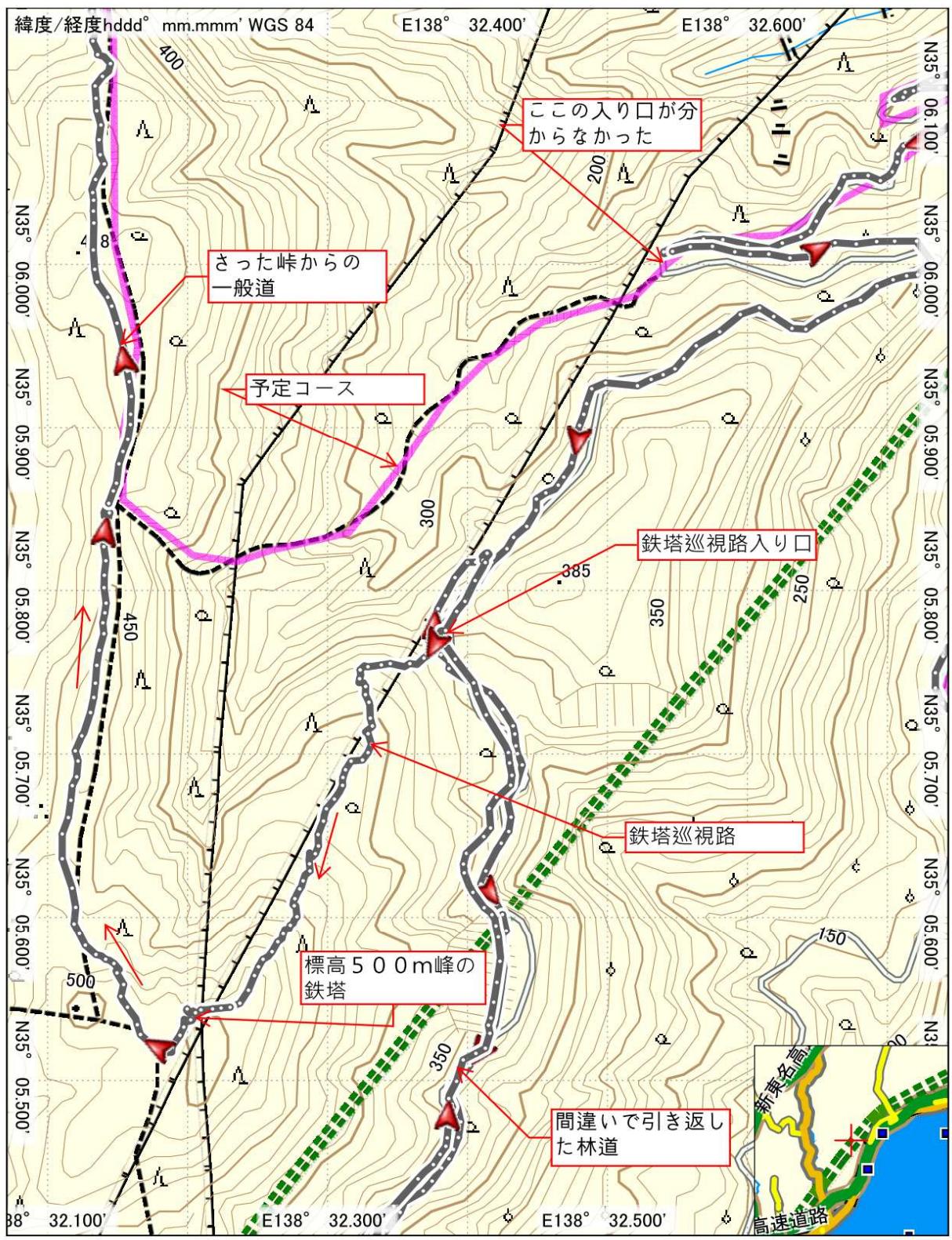
県連集会



晴れ着

山頂に沼津労山の3名だけ居た。Uさんが、「会えて良かった」といった。リップサービスでも嬉しい。林道をブラブラ下り交流。常連のNさんは脳梗塞、Eさんも退会と聞いてガックリ。来期、県連会員は300名を切った。うなづけた。

由比まで林道が長い。路傍のミカンを少し頂いた。疲れた体が癒された。町で成人式を終えた若い娘と会話。若い人はピカピカだ。旧東海道で名物「サクラエビ」を買った。50gで2000円。一匹いくら? 200匹なら10円か。ピンク色が優しかった。



Japan Topo 10M Plus V3  
CanvasMaple Co., Ltd 2014  
Garmin Corporation 1995-2014

2026/01/12 9:14:20

GARMIN.

2010/01/01